

「平成23年5月の自殺者の動向（分析結果）」の補足資料

平成23年7月25日
内閣府経済社会総合研究所
自殺分析班

経済社会総合研究所自殺分析班による平成23年5月の自殺者の動向の分析結果については、7月4日に開催された自殺対策タスクフォースにおいて説明・公表したところですが（資料は下記注参照）、今般、以下のように、これを補足する資料をとりまとめましたので公表いたします。

なお、以下では、基本的に自殺日・住居地ベースのデータを使用しています。

（注：自殺対策タスクフォース資料）

http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/sougou/taisaku/tf_kaigi4/pdf/s1.pdf

1. 若年層、女性の増加について

1) 昨年5月と比較した全体の増加数への女性、20代・30代の影響

5月は若年層、女性が増加していますが、それぞれの増加数が全体の増加数に占める割合は以下の通りです。これらにより、それぞれの要因が全体の動向をどの程度説明するのかがわかります。

① 女性

5月の全体増加数（472人）に対する女性増加数（267人）の比率は56.6%です。

② 20代・30代

5月の全体増加数（472人）に対する20代・30代増加数（251人。内訳は、20代102人、30代149人）の比率は53.2%です。

③ 20代・30代女性

5月の全体増加数（472人）に対する20代・30代女性増加数（127人）の比率は27.0%です。

特に、5月12日以降の20代・30代女性増加数に限ってみれば（124人）、26.3%です。

2) 20代・30代女性の自殺の原因・動機としての「健康問題」の詳細

5月の20代・30代女性の自殺の原因・動機として、前年同月比で最も増え方が大きかった（「不詳」を除く）のは「健康問題」です。

これを更に詳細にみると、精神疾患の悩み・影響がもともと殆どを占めています。5月についても、別添1の通り、対前年同月比での増加は、精神疾患による病気の悩み・影響が殆どです。なお、「原因・動機」は3つまで選択が可能のため、他の方法で集計したものと合計が一致しない場合があります。

3) 5月12日を境とした急増

5月12日を境に、自殺者数、特に、女性、それも20代・30代の女性が増加していることはタスクフォース資料の通りですが、自殺統計の分析により明らかになったのは、5月12日を境に急増したことまでです。

なお、男性全体、特に20代・30代の男性について見ると、女性ほど鮮明ではないものの、5月12日以降は前年に比べ増加している傾向は見て取れます。特に、5月13日は明らかに増加しています（別添2、3参照）。

2. 都道府県別の特性について

全国の合計だけではなく、都道府県別に見ると、地域的な特徴が現れます。特に、以下の2点に留意すべきと思われます。

1) 都道府県別にみた年齢別自殺者数

年齢別に見ると、全国の合計では、30代が一番増加数が多く（149人）、20代がこれに次ぎます（102人）。

しかし、都道府県別に見ると、これ以外の中高年層の増加数が多いところがかかり見られます。別添4の表で黄色のところは、それぞれの都道府県において、年齢別に見て上から3つまでを示したものです。

半分近くの都道府県では、20代、30代について相対的に大きな増加は見られず、また、中高年層は、増加しているところも多いですが、減少しているところもあります。中高年層の場合、これらが、キャンセルされて全国合計では、それほど増えていないように見えます

が、都道府県によっては、中高年の増加が顕著なところもあり、地域別に見た特性に留意する必要があります。

2) 都道府県別にみた自殺の原因・動機

自殺の原因・動機を見ると、全国の合計では「不詳」が一番多くなっています（180増）。

しかし、都道府県別に見ると、これ以外の原因・動機、特に「経済・生活問題」の増加が多いところがかかり見られます。別添5の表で黄色のところは、それぞれの都道府県において、原因・動機別にみて年齢別に見て上から3つまで（「不詳」を除きます）を示したものです。

なお、「経済・生活問題」は、増加しているところも多いですが、減少しているところもあります。「経済・生活問題」の場合、これらが、キャンセルされて全国合計では、それほど増えていないように見えますが、地域別に見た特性に留意する必要があります。

3. 震災の影響について：被災3県における5月の状況

被災3県での5月の対前年の増加数は18人（岩手県5、宮城県▲4、福島県17）と、全国の472人程度の増加に比べて小さいものの、宮城県や福島県では、4月、5月と増加を続けていること、特に福島県での増加数が大きいことなどには注視が必要と思われます。

(以上)

(別添1)

20代・30代女性の自殺の原因・動機としての「健康問題」の詳細(自殺日ベース)

1. 実数

	1月	2月	3月	4月	5月
病気の悩み(身体の病気)	1	11	5	12	10
病気の悩み・影響(うつ病)	69	60	55	68	99
病気の悩み・影響(統合失調症)	20	24	18	19	19
病気の悩み・影響(アルコール依存症)	5	2	2	1	2
病気の悩み・影響(薬物乱用)	0	1	1	0	1
病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	14	10	13	16	24
身体障害の悩み	0	1	1	1	0
その他	2	0	3	1	2

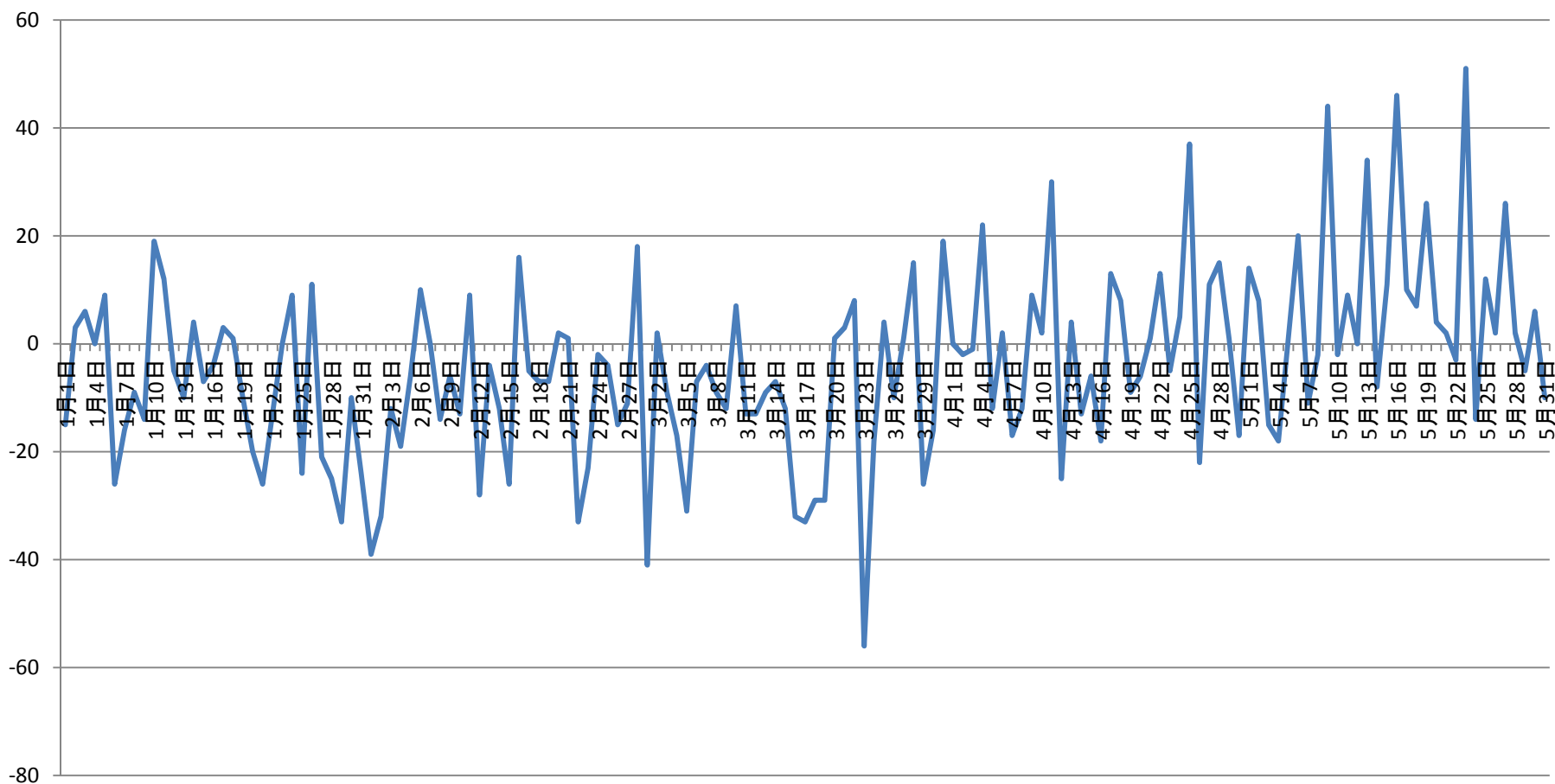
2. 前年同月との差

	1月	2月	3月	4月	5月
病気の悩み(身体の病気)	-6	4	1	3	2
病気の悩み・影響(うつ病)	-17	-8	-26	-3	30
病気の悩み・影響(統合失調症)	-1	6	-1	-5	-7
病気の悩み・影響(アルコール依存症)	5	1	-1	1	1
病気の悩み・影響(薬物乱用)	-2	1	0	-2	1
病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	-2	-3	-8	6	10
身体障害の悩み	-1	-1	0	1	-3
その他	2	-2	1	-1	0

注) ・警察庁データ(平成23年6月17日集計)により自殺分析班作成。

(別添2)

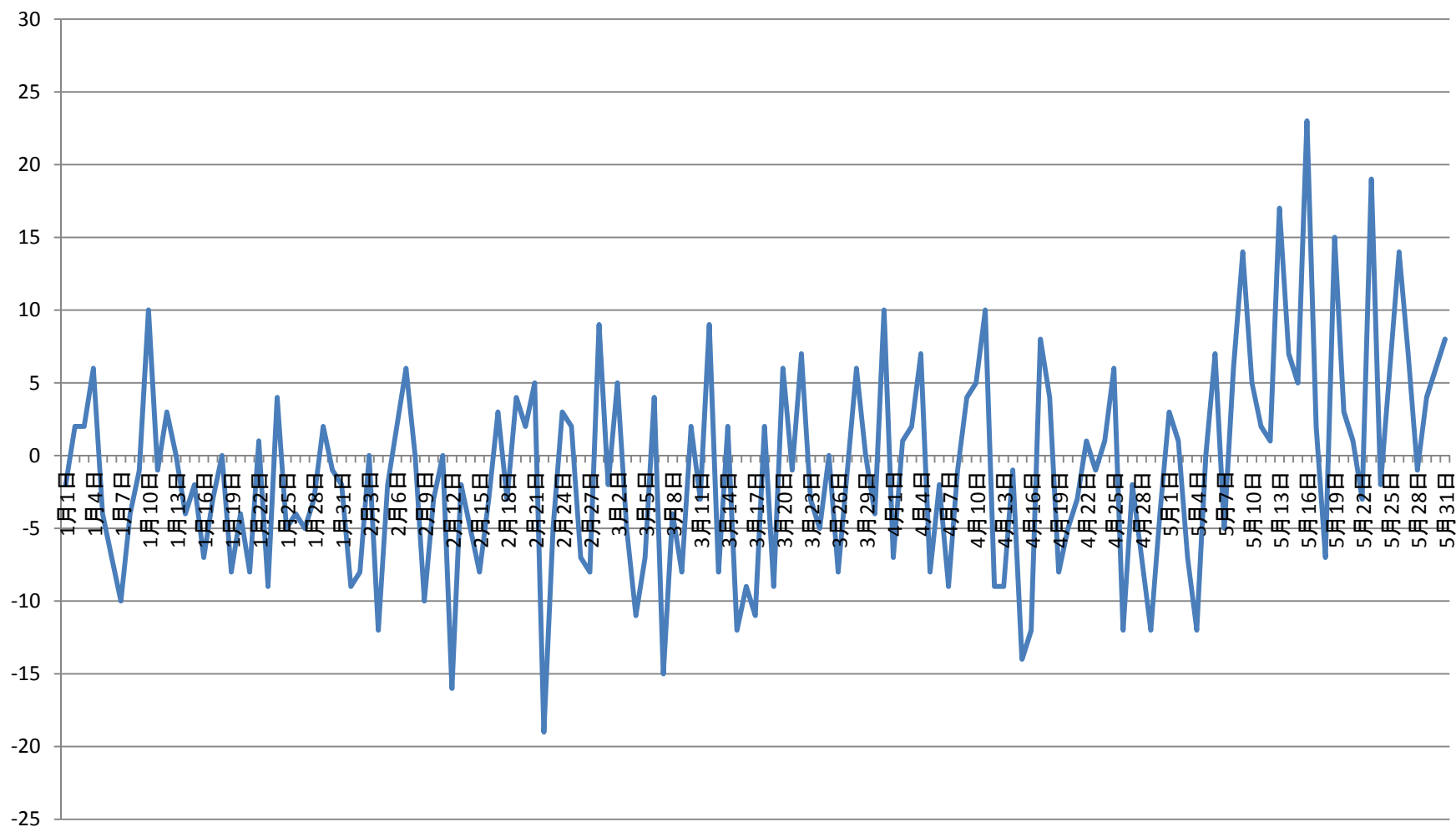
自殺者前年同月差の推移(日次:男性)



出典：警察庁データ（平成23年6月17日集計）により自殺分析班作成

(別添3)

自殺者前年同月差の推移(日次:男性20歳～39歳)



出典：警察庁データ（平成23年6月17日集計）により自殺分析班作成

(別添4)

平成23年5月の年齢別・都道府県別自殺者数の増加数(対前年)[自殺日・居住地ベース]

(黄色は、各都道府県における第3位までの年齢層)

都道府県	年齢(10歳階級)別								不詳
	20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	
全国	19	102	149	45	67	14	61	24	-9
北海道	3	6	-1	2	-2	-6	-4	1	0
青森県	0	-1	1	-1	4	0	0	1	0
岩手県	0	-1	4	0	5	-2	-1	0	0
宮城県	0	7	1	-2	-11	0	1	0	0
秋田県	1	4	6	3	2	-1	3	-2	0
山形県	0	5	2	-4	-3	-3	-2	0	0
福島県	-1	3	5	4	9	2	-2	-3	0
茨城県	3	3	0	3	0	3	8	-5	0
栃木県	3	2	9	0	1	3	3	0	0
群馬県	-1	0	2	5	0	4	1	-1	0
埼玉県	-2	7	3	4	13	3	-2	-1	0
千葉県	0	8	14	2	17	5	0	-1	0
東京都	0	10	4	6	11	-3	4	2	-1
神奈川県	-1	8	30	13	1	0	6	3	0
新潟県	-1	8	7	10	-6	4	-1	-1	0
富山県	1	-1	4	-2	0	-1	2	1	0
石川県	0	-3	6	3	2	3	-1	0	0
福井県	-1	-3	0	1	-2	1	-2	0	0
山梨県	1	2	0	2	-1	-3	0	0	0
長野県	1	3	3	0	-4	1	-2	1	0
岐阜県	1	0	0	4	-3	-1	-4	1	0
静岡県	3	6	-3	-2	5	4	9	-2	0
愛知県	1	10	11	7	11	-1	0	14	0
三重県	0	4	5	-3	2	-2	1	2	0
滋賀県	1	0	-1	-5	4	2	0	1	0
京都府	-2	1	5	-4	3	0	3	-2	0
大阪府	-1	3	6	6	-6	-10	8	0	0
兵庫県	4	0	4	-14	2	0	10	-2	0
奈良県	0	0	8	2	0	1	1	1	0
和歌山県	1	0	-1	-2	4	4	5	4	0
鳥取県	0	3	-2	3	0	-3	1	3	0
島根県	0	5	0	-2	3	0	-1	1	0
岡山県	0	1	-6	-4	-3	-3	0	2	0
広島県	-1	2	3	5	1	-6	-1	-1	0
山口県	2	1	2	-1	-3	1	2	3	0
徳島県	0	1	2	3	-4	2	-1	0	0
香川県	-1	2	5	1	0	1	7	2	0
愛媛県	3	2	3	-2	0	-1	-1	-1	0
高知県	0	-1	0	3	4	-4	-1	0	0
福岡県	0	-4	3	14	16	8	-3	2	0
佐賀県	1	1	-2	-2	-2	0	1	-5	0
長崎県	0	-1	6	0	-3	3	1	4	0
熊本県	0	2	2	3	3	0	1	4	0
大分県	1	-1	1	-1	-6	-3	1	1	0
宮崎県	0	1	-1	-10	-2	0	0	-2	0
鹿児島県	0	-3	3	-4	-2	2	6	1	0
沖縄県	0	1	-1	5	7	6	5	-2	0
不明	0	-1	-3	-4	0	4	0	0	-8

注) ・警察庁データ(平成23年6月17日集計)により自殺分析班作成。

・都道府県の欄の「不明」は居住地が不明であることを表す。

(別添5)

平成23年5月の原因動機別・都道府県別自殺者数の増加数(対前年)[自殺日・住居地ベース]
(黄色は、各都道府県における第3位までの原因動機)

都道府県	原因・動機別							
	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳
全国	63	107	17	70	17	19	53	180
北海道	4	5	4	1	5	-1	-2	-11
青森県	3	1	-8	-3	0	0	2	5
岩手県	2	0	3	7	0	0	0	-1
宮城県	6	0	-8	0	1	0	4	-1
秋田県	-2	9	-2	-1	1	1	0	7
山形県	3	1	-4	-1	0	1	2	-4
福島県	3	11	-3	3	1	1	3	5
茨城県	6	-3	3	-1	0	1	0	8
栃木県	-7	6	4	0	0	2	4	12
群馬県	2	-1	2	0	0	0	1	1
埼玉県	-3	17	-6	9	0	0	6	-2
千葉県	12	30	0	-1	-1	3	2	14
東京都	12	17	19	6	3	0	3	-1
神奈川県	0	27	10	9	-1	-2	6	26
新潟県	1	-11	1	-1	1	0	1	32
富山県	2	-4	0	3	-1	0	3	0
石川県	-1	-1	4	0	2	0	0	4
福井県	-2	-6	-3	-1	-1	-1	1	4
山梨県	-5	-5	5	0	-1	0	5	4
長野県	1	4	-4	1	1	1	-2	-6
岐阜県	-4	-9	-6	2	1	0	-3	5
静岡県	3	8	2	2	-3	2	-2	7
愛知県	6	14	9	6	2	-2	5	11
三重県	-3	1	4	1	0	0	1	5
滋賀県	-2	-2	1	-1	-1	0	2	3
京都府	-1	7	-4	1	-2	1	-1	-4
大阪府	-2	-35	-7	10	2	1	2	33
兵庫県	-1	7	-9	-2	6	3	4	-4
奈良県	4	11	3	4	1	0	0	-4
和歌山県	-1	-2	-2	1	-1	0	1	18
鳥取県	2	2	0	2	0	0	2	0
島根県	3	-1	5	0	-1	3	-1	-2
岡山県	3	-4	-4	-2	-2	0	1	-5
広島県	6	-6	1	-1	6	-1	2	0
山口県	-1	5	0	4	1	1	1	0
徳島県	2	2	-1	0	-1	0	0	0
香川県	2	4	-1	-2	2	0	1	9
愛媛県	0	-3	1	2	0	1	-1	2
高知県	-1	-2	-1	1	0	1	0	0
福岡県	10	12	2	8	1	1	1	15
佐賀県	-3	-5	-8	1	-1	1	0	2
長崎県	3	2	3	2	-1	0	4	2
熊本県	3	8	2	2	0	0	1	2
大分県	-4	-2	-2	-1	1	0	0	-1
宮崎県	-1	-4	-4	0	-1	0	-2	-4
鹿児島県	3	2	5	-1	-3	0	-4	-2
沖縄県	1	3	7	3	1	1	1	7
不明	-1	-3	4	-2	0	0	-1	-11

注) ・警察庁データ(平成23年6月17日集計)により自殺分析班作成。

・都道府県の欄の「不明」は居住地が不明であることを表す。